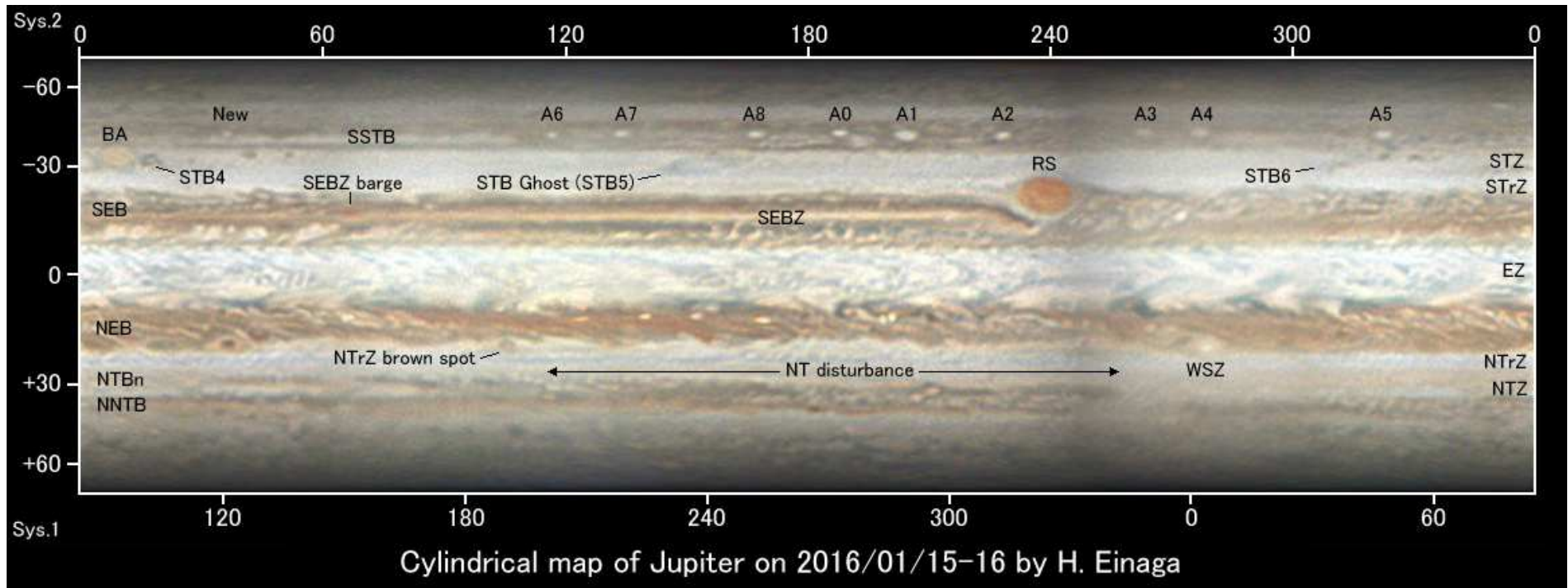


最新の木星面展開図

1/15~1/16 永長英夫氏撮像・作成



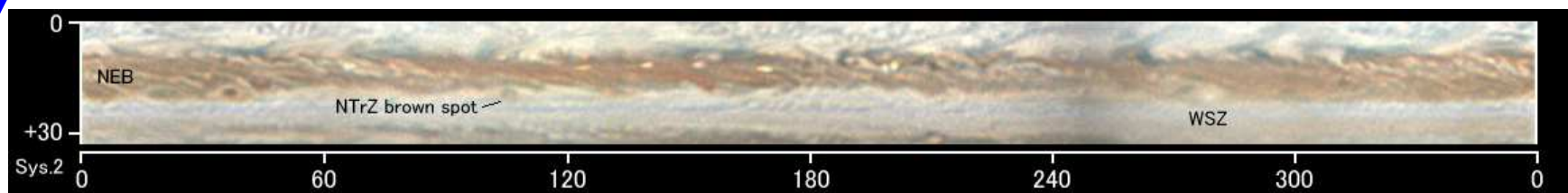
NEB拡幅の顛末

2014年
10月
12月
2015年
3月
10月
11月
2016年
1月

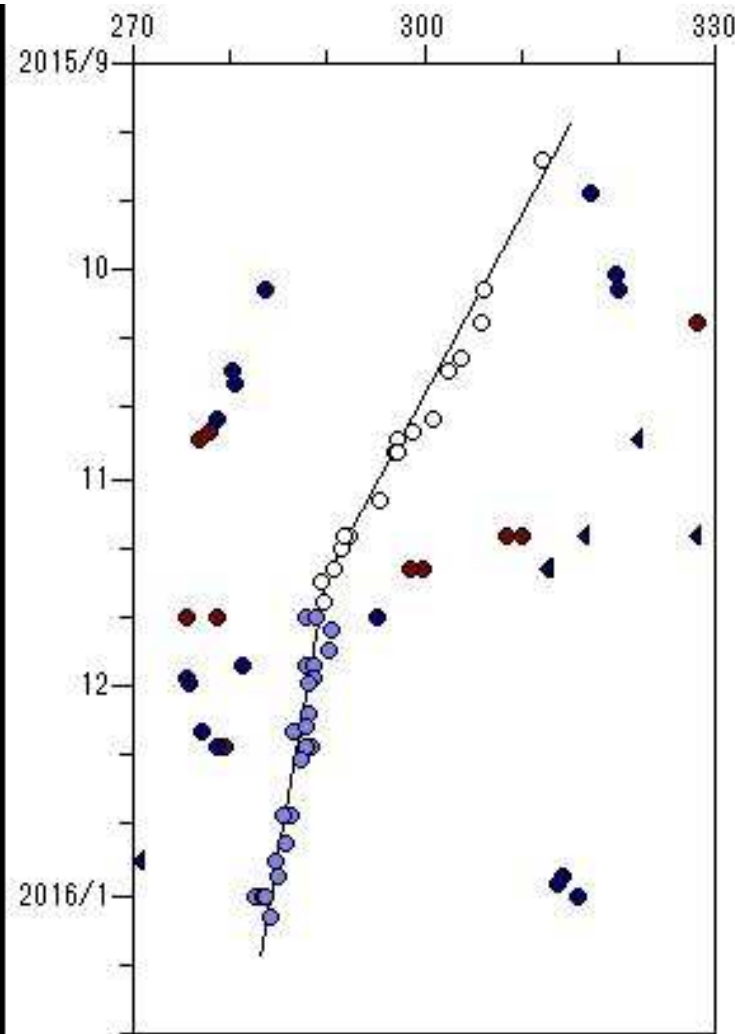
Stage-1
拡幅域後端部の形成

Stage-2
 $\lambda = 140^\circ$ 付近の活動
・大きな突起の出現
・リング暗斑の出現

Stage-3
WSZ前方への拡大



WSZの変化と減速

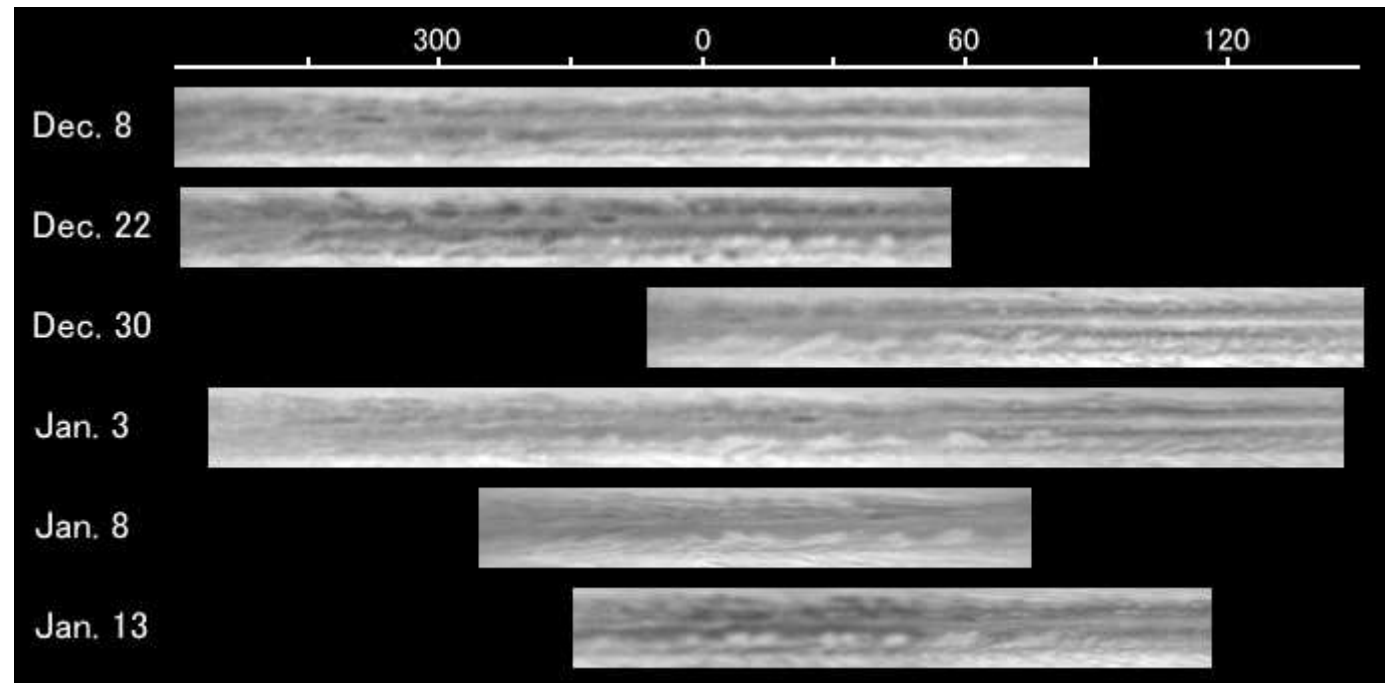


- NEB拡幅域が昨年11月に後方から追いついた
- WSZは明るいNTrZに露出した白斑から、NEB北部に埋もれた白斑に変化
- 同時にドリフトが $-0.26^{\circ} / \text{day}$ から $-0.13^{\circ} / \text{day}$ に減速

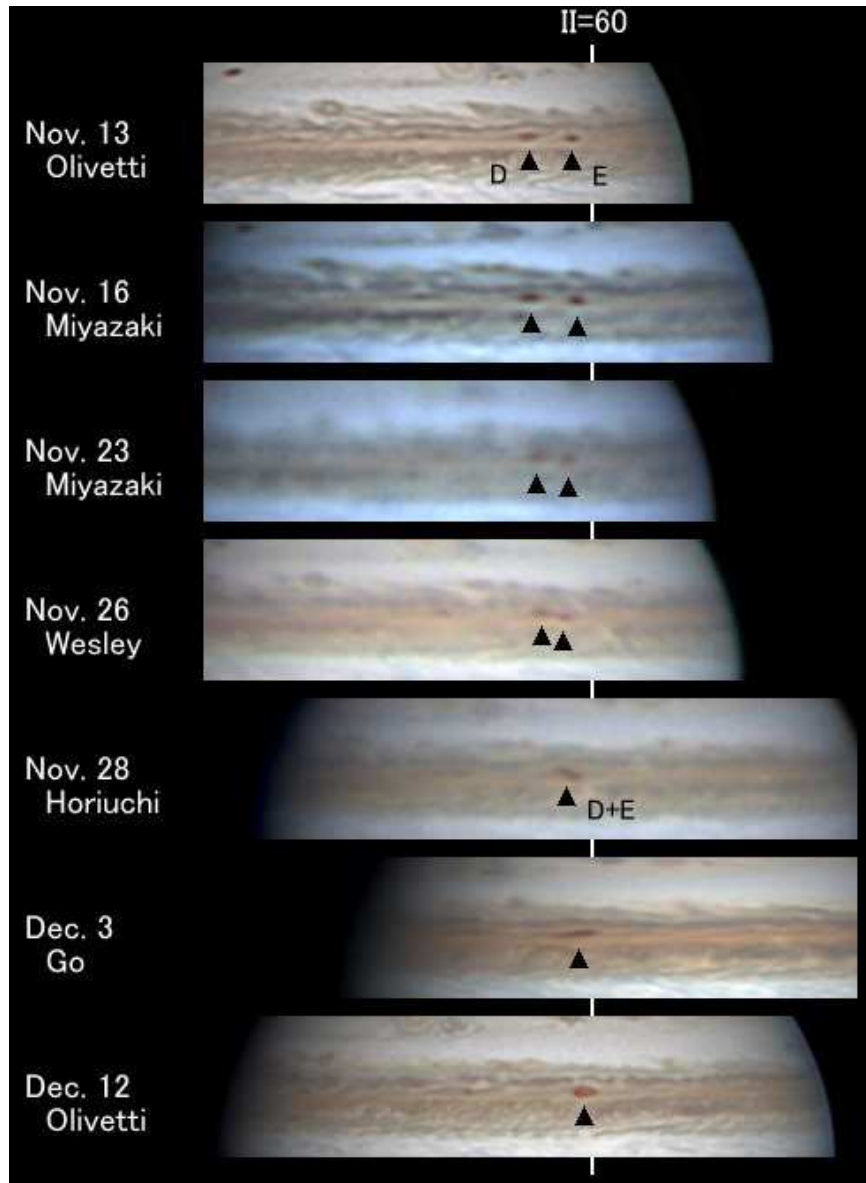
SEB北部の明化



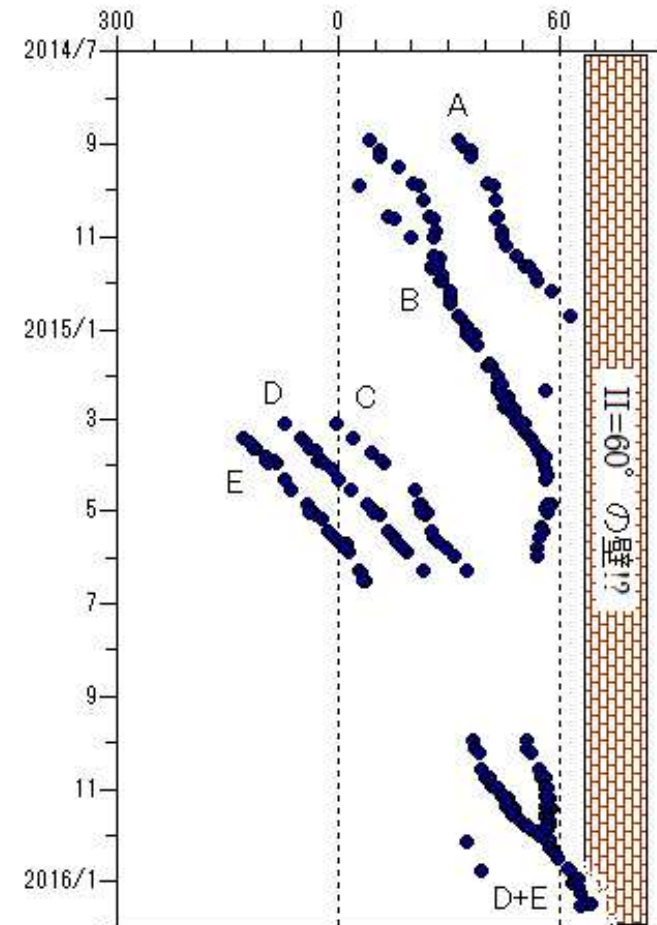
- 昨年12月初めにRS前方のSEB北部に明帯出現
- 12月下旬までに5~6個のセル状の明部に分断され、顕著になった
- ひっくり返すとNEBからEZに向かってfestoonはえているかのよう
- メタンバンドでも濃淡が見られ、対流性の運動が疑われる
- 乱れた印象を受けるが、セルの数や相対位置はあまり変化していない



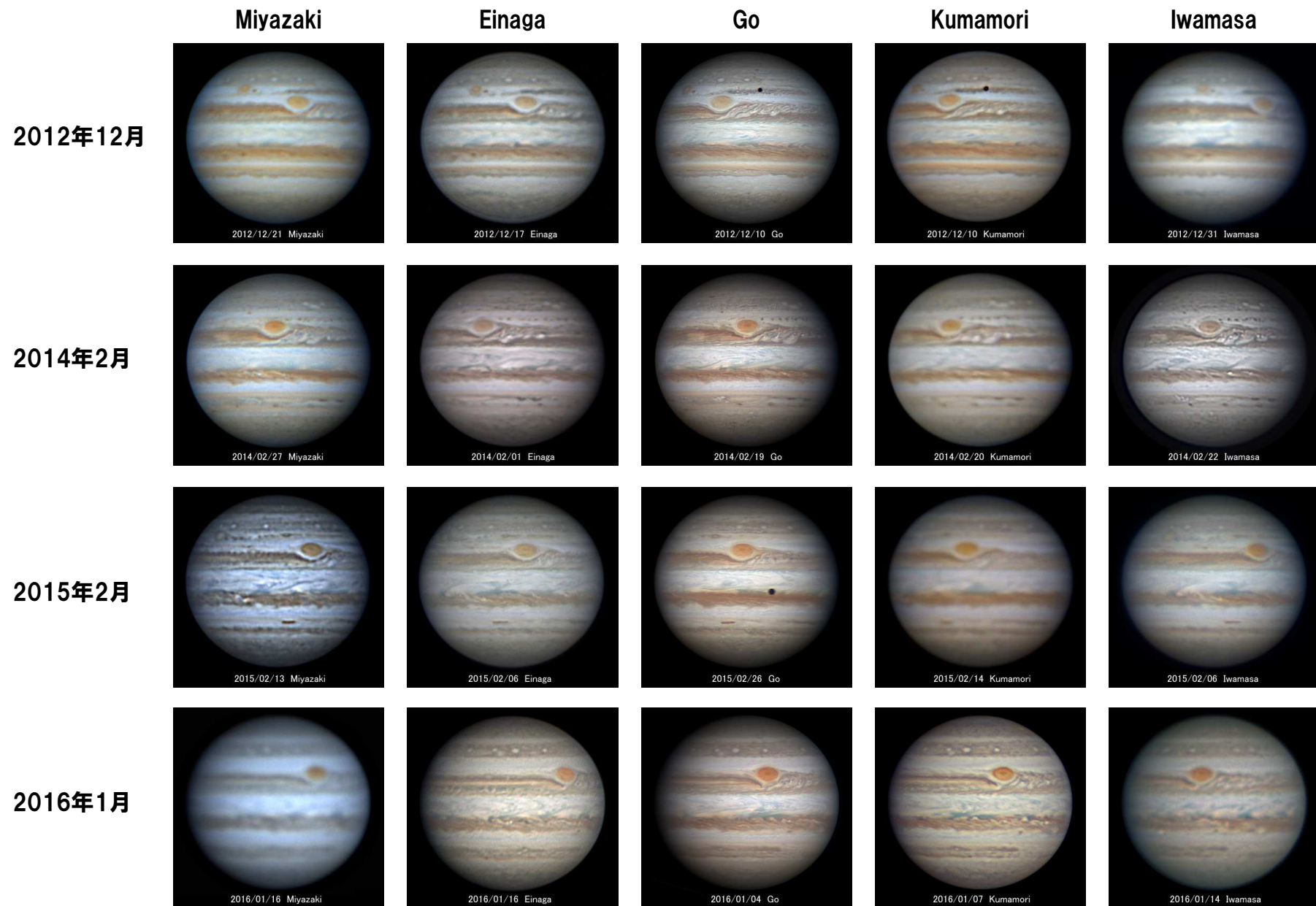
体系II=60°の壁破られる！



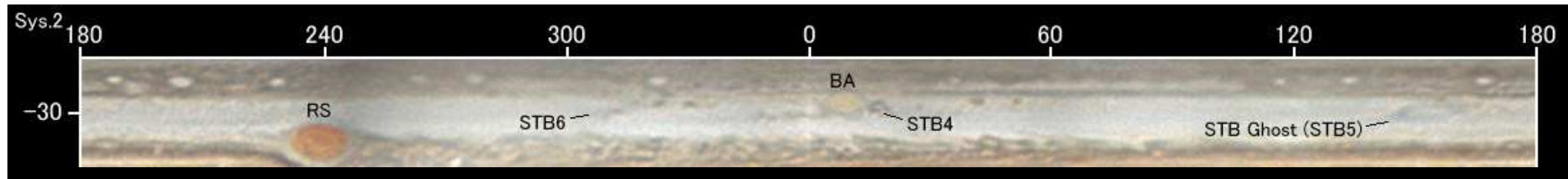
- 昨年11月末にDとEが合体
- 合体後はEのドリフトを引き継いで後退を続け、II=60°をあっさりと超えた



大赤斑は赤さを増したか？



永続白斑とSTB



2013年3月



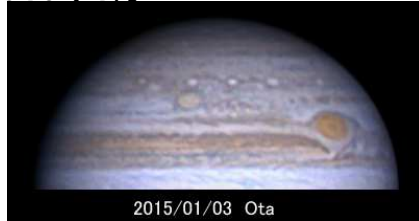
2013/03/28 Go

2014年2月



2014/02/27 Miyazaki

2015年1月



2015/01/03 Ota

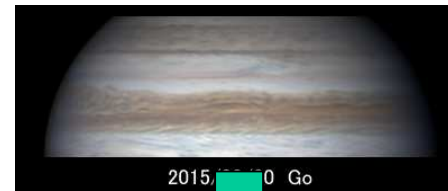
2015年12月



2015/12/24 Olivetti

- BA周囲の暗い縁取りが消失、白斑本体も濁って明るくない
- 周囲の模様とのコントラスト低い
- 後方のSTBは短縮して小暗斑となった
- まもなく消失すると思われる
- BAはさらに確認が困難になるかもしれない

STB Ghost (STB5)



2015/01/00 Go



2016/01/16 Einaga

- 青いフィラメントが東西に広がり不明瞭
- 昨シーズンと比べて周囲のSTBnが淡化したが、ベルトの輪郭ができてきているように見える
- 暗化してベルト化するかも

STB6



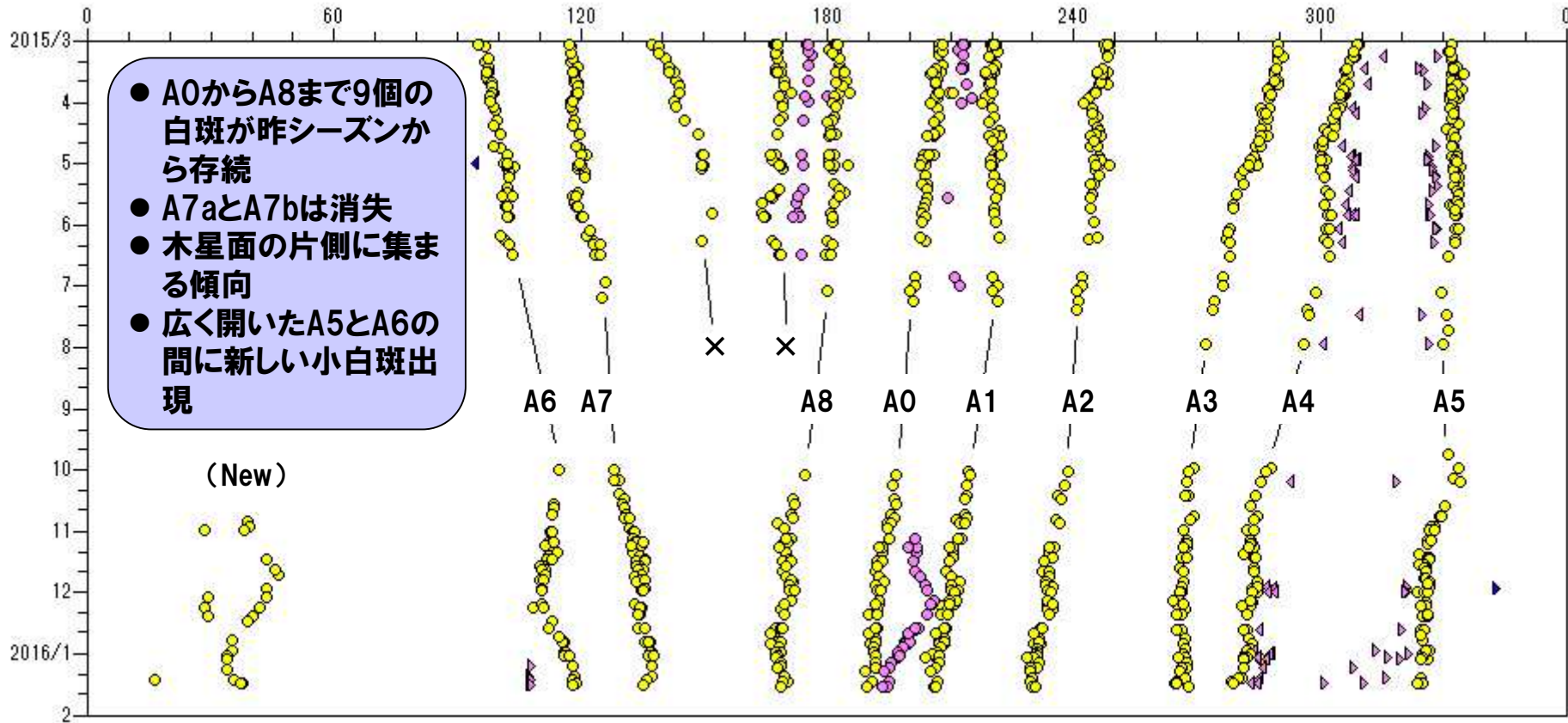
2015/09/00 Miyazaki



2016/01/03 Iwamasa

- 昨年10月は大変顕著な小暗斑だったが、前後に拡散して不明瞭になった
- フィラメント化する可能性あり

SSTBのAWO(高気圧的白斑)



STB Ghost (STB5)

